

お客様訪問シリーズ No.462

全熱交換器ユニット ベンティエール ご採用事例

銀一スタジオショップ様
(東京都中央区)



換気機器の設置でお客様だけでなく 従業員にも安心感を

銀一スタジオショップ様は、撮影機材の販売やレンタルを通して、映像制作に関わるあらゆる人達をサポートされています。コロナ禍以降、窓開け換気や出入り口でのアルコール消毒励行など、感染症対策を行われており、さらに今回、換気機器『全熱交換器ユニット ベンティエール 天井埋込ダクト形』(2台)をご採用いただきました。(2021年1月)



銀一スタジオショップ
統括店長 山田浩一様



正面出入り口一箇所の 窓開け(自然)換気に不安を感じていた

1日の来店は何百人という訳ではありませんが、我々の商売ですと、商品がわかっている方はオンラインショップで購入されるのですが、わからない商品を聞きに来られたり、新しいことをやりたくて相談したいということで来店されるお客様も多いです。そうすると、どうしても説明などで話が長くなってしまいうのでお互い不安がありました。窓開け換気といっても出入り口一箇所しかありませんので。

(コロナになって最初の)昨年の8月は特に暑かったので、エアコンはつけっぱなしで電気代も上がっていたと思います。カメラという精密機器にとって湿気やカビは大敵である為、商品にも支障をきたすのではないかと不安でした。そうした職業柄の事情も含めてなんとかしたいと考えていたところでした。



換気しながらも 室温が一定に保たれていることを実感

ベンティエールを設置してからは、私のデスク近くでも、吹出口からの風を感じられ、換気ができているというのがわかります。倉庫を流用した店舗で天井も高い為、空調が効く所、効かない所があったのですが、部屋の温度も一定に保たれるようになり、暑い寒いも感じなくなりました。機器本体は天井につけてもらいましたので邪魔に全然ならず、換気していることをアピールできるので良かったです。

職場の環境を整えるということで、私含めてスタッフはありがたいなと思っていて、それはお客様にとっても有益なことなので、安心して来店していただける理由にもなると思います。



導入機種：VAM500HS×2台

店舗内の従業員とお客様の合計人数を最大30名とし、1人あたりの必要換気量を30m³/h(最大900m³/h)として計算。風量500m³/hの機種を2台設置し、1,000m³/hの換気量を確保。



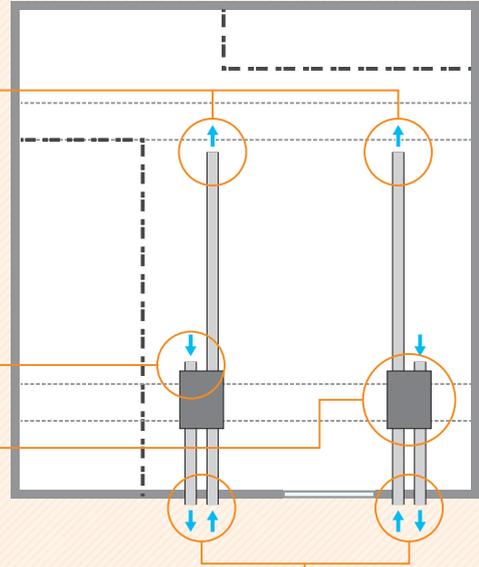
給気ダクトを約9m伸ばして、店内奥で給気



室内排気口に保護網を取り付け



1台はメンテナンススペースを内側に持つくる為ベンティエール本体を天地逆設置



施工前



施工後

入り口側ガラス窓を窓パネルに変更し、屋外給排気口を設置

温度・湿度を逃さず空気を入れ替える **ダイキンの換気。**



使い方で選べるラインアップ

後付けしやすい露出設置



露出設置形

受賞対象:エネルギー回収装置付き追加換気機器



スッキリ天井内設置



天井埋込ダクト形



天井埋込カセット形

かんたん壁掛け設置



壁掛形

ダイキン工業株式会社

本社 〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
東京支社 〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル